



▲雨の中、実ったホップを収穫する登別産ホップ研究会のメンバーたち

努力が実を結ぶ

登別産ホップを使った地ビールの完成披露会

12/11



12月11日(金)、登別産ホップを使った地ビールが完成し、披露されました。

登別産ホップを使った地ビールに興味を持った市内事業者などの有志が立ち上げた登別産ホップ研究会が、平成29年度から育成方法などについての調査研究を開始。土地を開墾し、試験栽培を行い、悪天候や鹿の食害などに苦戦しながらも、4年目の令和2年、ついに約17畧のホップを収穫することができました。

地ビールは、登別産ホップと道内産ホップを使用し、株式会社わかさいも本舗が地ビール工場で製造。12月12日(土)から市内の一部店舗で限定販売され、準備した店舗販売分は完売という人気ぶりでした。すでに、来年に向けた苗の植え付けを終えた同研究会は、『次は登別産ホップ100畧の地ビールを』と意気込んでいます。



▲足を意識した『忍者ごっこ』で、楽しみながら学んだ参加者たち

令和2年度第3回家庭教育学級講演会
12月13日(日)、市民会館で令和2年度3回目となる『家庭教育学級講演会』(市教育委員会主催)を開催しました。
子育て中の保護者や家庭教育に関心のある方を対象として、子育てに関するさまざまなことをテーマに行う同講演会。今回は、『足育運動教室あしまる』を主宰する米丸あや子さんを講師に迎え、成長期における足の注意点などを学んだほか、子どもたちと一緒に、足の成長を促す運動などを体験しました。次回の同講演会は、3月11日(木)に『お片付け』をテーマに開催予定です。

足を育て、守る

12/13

『食』で深まる交流

神奈川県海老名市の特産品が給食に

12月9日(水)、市内の小・中学校で、登別市の姉妹都市・海老名市にちなんだ給食が登場しました。

市は、今年度、市制施行50周年記念給食として、定期的に登別市や登別市とゆかりのある地域にちなんだ献立を提供しています。

今回は、海老名市産の新米『はるみ』と、根菜がたくさん入った神奈川県産の郷土料理『けんちん汁』をみそ仕立てにした『けんちんみそ汁』が登場。

いつもとはひと味違う給食に、木村謙慎くん(幌別小)は、「お米がもちもちでおいしい」と笑顔で話してくれました。

12/9



▲粘りや甘さが特徴の新米『はるみ』や海老名市産のみそを使用したけんちんみそ汁などを味わう子どもたち(写真は幌別小学校)

受け継がれる思い

令和2年度熊舞引継式

12月12日(土)、登別中学校で2年生33人が、卒業する3年生などを前に、郷土芸能『熊舞』を披露しました。

同校では、熊舞を授業に取り入れており、3年生が登別地獄まつりなど、多くの人が集まる場で熊舞を披露しています。

熊舞引継式は、来年度、その役を担う2年生が、3年生同様に『登別温泉熊舞の会』の皆さんから教えを受け、重ねてきた練習の成果を発表するものです。見続けてきた3年生の熊舞に負けじと練習を重ねた2年生。たくさん汗を流しながら、熊舞を披露したその姿に、たくさん拍手が送られていました。

12/12



▲ダイナミックな『熊舞』を披露した登別中学校の2年生